



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
【URL】 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2023年9月19日

報道関係各位

## 「SDGs 未来都市」、「脱炭素先行地域」の上士幌町と 「ペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結 ～「ボトル to ボトル」協働事業により PET ボトルの循環利用を推進～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、上士幌町（所在地：河東郡上士幌 町長：竹中 貢）と同町の町民等が排出する PET ボトルの資源循環型リサイクルを実施することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・経済・社会を目指すことを目的とした「ペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結いたします。

つきましては、上士幌町との協定締結式を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

### 【調印式日程】

日時：2023年9月22日（金）15：30より

場所：上士幌町 山村開発センター2階 第2研修室（上士幌町字上士幌東3線238番地）

出席者：上士幌町 町長 竹中 貢 様

当社 代表取締役社長 佐々木 康行

### 【上士幌町における「ボトルtoボトル」協働事業】プロセス



本協定は、使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する、水平リサイクル※2「ボトル to ボトル」事業において協働するもので、上士幌町が回収する使用済み PET ボトルを、粉砕・洗浄などの各工程を経て、再原料化いたします。本事業にて再生された PET 原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用いたします。

当社はコカ・コーラシステムが目指す「容器の 2030 年ビジョン」において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび本協定に基づき、当社と上士幌町は町民・事業者・行政の三者が一体となり、北海道内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

※1 一般的な PET ボトルから 100%リサイクル PET 素材に切り替えた場合

※2 使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：伊藤 TEL 011-888-2091

## 【参考資料】

### ■ コカ・コーラシステムの取り組み

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」のもと「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内のプラスチック資源の循環利用を推進しています。

PETボトルについては、2018年に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2025年までにすべてのPETボトル製品へのリサイクルPET樹脂などのサステナブル素材の使用、2030年までに販売した自社製品と同等量のPETボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。2021年5月には「コカ・コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入。現在は4ブランド44製品に100%リサイクルPETボトルを使用しており、日本国内におけるPETボトルの「ボトルtoボトル」比率は2022年第一四半期時点で50%を超えました。また、2020年より販売しているラベルレス製品も10ブランド22製品へと拡充、容器1本あたりのPET素材使用量の削減（軽量化）にも継続的に取り組んでいます。

コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進による100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。

※ 「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材

参考URL

( <https://www.cocacola.co.jp/content/dam/journey/jp/ja/sustainability/resources/2022/resources-2030vision.pdf> )



### ■ 当社の水平リサイクル推進の取り組み

#### ・「環境広場ほっかいどう2023」などへのブース出展による啓発活動

2023年4月に札幌ドームにて開催された「環境広場ほっかいどう2023」で、水平リサイクル推進を目的としたブースを出展したほか、新千歳空港2階にて同様のブースを設置し、北海道民の方のみならず、北海道外、海外からの来道者へもリサイクルを推進することの重要性を訴求しました。



#### ・「第32回YOSAKOIソーラン祭り」大通会場で回収したPETボトルを100%リサイクルへ

持続可能な地域の祭りの実現を目指すYOSAKOIソーラン祭り初の試みとして、2023年6月7日～6月11日の開催期間中、大通7丁目会場南側にPRブースを設置し、来場者の皆さまに身近なPETボトルの「分別」に対する意識向上を図りながら、会場内※で回収した全ての使用済みPETボトルを、コカ・コーラ製品の飲料用PETボトルとしてリサイクルする取り組みを展開しました。

※給水スペース、大通公園西5・6丁目「北のふーどパーク」内



第32回YOSAKOIソーラン 大通7丁目会場PRブースの様子